

## 令和4年度 第1回長野市観光振興審議会 会議録

日 時 令和4年7月26日(火) 午後10時から午前11時30分まで  
場 所 市役所会議室141(第一庁舎4階)  
出席者 委員(14人中 11人出席)  
事務局10人  
観光振興計画進捗管理SCOP1人(観光振興計画策定業務受託者)  
信州松代観光協会1人

### 1 開 会

### 2 委員の委嘱

委員任期は、令和4年6月1日から令和6年5月31日までの2年間。

### 3 商工観光部長挨拶

今年度は長野市観光審議会委員の改選の年であり、新しく委員になられた方もいるが、委員の皆様には、これまでの経験・知識を十分に生かし、お力添えの上、本市の観光振興を進めていきたい。

さて、4月から3ヶ月にわたり開催された「善光寺御開帳」が、先月閉幕した。当初は、集客や感染症対策について、不安もあったが、感染拡大もなく、期間中、636万人という大変大勢のお客様にお越しいただいた。

市としても、御開帳に合わせ、にぎわい創出イベントの開催、観光案内所の運営、送客支援事業や周遊促進のためのスタンプラリーなど、様々な、誘客促進事業を展開してきたところである。御開帳効果を一時的なものにせず、今後も長野市への来訪とつなげる政策に引き続き取り組んでいきたい。

また、現在、新型コロナウイルス感染症は再び拡大傾向にあり、先行きが見えない状況が続いている。本日も、市では、新型コロナ感染症対策本部会議を開催し、感染予防対策の徹底を進めているところである。

このように、不確実で変化が読めない中だが、ウィズコロナ、アフターコロナ時代に対応した新たな観光スタイルの転換を図り、インバウンドを含む観光需要回復を見据えた、戦略的計画的な施策を行うことで、経済活動との両立に向け積極的に取り組んでいきたいと考えている。

この審議会では、令和4年度からスタートする新たな観光振興計画や、昨年度までの観光振興計画の進捗状況について、事務局から説明する。これまでの反省点を踏まえ、良かった点は伸ばし、時代に対応した観光政策が進められるよう、委員の皆様には、それぞれ専門

の立場から忌憚の無い意見を頂戴したい。

#### 4 審議委員の紹介

本審議会は観光振興に関わる諸団体代表の方、学識経験の方は、公募の方の14名の委員の皆様から構成される。

#### 5 事務局職員の紹介

#### 6 会長及び副会長の選出

長野市条例第五条第1項の規定により、以下のとおり選出。

議長：笠原 甲一

副議長：赤池 健

#### 会長挨拶

先月まで開催された善光寺御開帳では、636万人という多くのお客様にお越しいただき、長野市が大いに賑わった。長野市の観光業界にとって久々に明るい話題であったが、一過性のもものならず、引き続き、さらなる経済の回復が図ることができるよう期待したい。

長野市の観光振興計画は、昨年度迄で一区切りし、新たに5年間の振興計画が本年度からスタートしている。

お集まりの委員には、各事業の取り組み内容や実績、今後の進め方について、それぞれ専門の立場から忌憚のない意見をいただきたい。委員の協力のもと観光を通じて、長野市の活性化が図れるよう努めていきたい。

#### 7 議事

- (1) 長野市観光振興計画 概要版（令和4年度－令和8年度）について
- (2) 長野市観光振興計画（平成29年度－令和3年度）の進捗状況について

#### 【質疑応答】

- (1) 長野市観光振興計画 概要版（令和4年度－令和8年度）について

A委員：実践プロジェクトの事業実施計画で、今回「古民家イノベーションのカフェ、裏路地」に主に焦点を当てるという点。

最近非常に注目されているのは知っているが、中央通りには老舗の店もたくさんあり、それぞれ皆さん、頑張っているところも注目したい。新旧両方あるのが善光寺さんの良さで、来る人も拒まず色々な人を受け入れて、一緒に商売をしている懐の広さが長野市を表していると思う。リノベ・裏路地もいいが、張り切っている老舗の皆さんのためにも表参道の魅力発信を加えて欲しい。

また「観光事業者」という言葉が出てくるが、具体的にはどのような会社、業種を想定しているか教えて欲しい。

事務局：まず1点目の裏路地については、御開帳期間中、デジタルマップで位置情報を把握した結果、人の流れは裏路地などに波及しなかったという点が反省点として挙げた。

そこで裏路地巡りもフォーカスしてみてもという思いに繋がった。実際、表参道沿いの老舗の店では、例えば茶壺があって、老舗の店主が店の歴史を語るなどの良さもある。老舗の思いやコンテンツは、是非、共有し誘客に活かしていきたい。それを含めて、滞在時間を伸ばすための一つの取組みで裏路地への誘導を行っていきたい。

2点目の観光事業者について。商店主の方、商店街の役員の方、宿泊施設の方、旅行会社関係の方などアイデアをお持ちの方と幅広く想定し対象としている。

B委員：戸隠を代表してバードウォッチングについて話したい。お客様はアイドルに会いに行くように、その鳥に会いたくて、その鳥の声を聴きたくて、その時期に合わせて旅をする。

そんなお客様に今の戸隠森林植物園は整備が不十分で不便をかけている。

鳥は巣作りをする時、安心な土地を求めますが、今のように長年、少しずつ少しずつの工事では、その工事の音で鳥が巣作りを放棄してしまう。

ここは行政の力で木道の工事を短期間で完了し、多くのお客様を迎えるきちんとしたスタイルがあれば、戸隠早朝バードウォッチングへの誘客の成功になると思う。

バードウォッチングの季節は5月から6月、また、10月にかけてもまた秋の鳥が来る、ここを捉えることが観光資源となる。バードウォッチャーはその鳥に会うために2泊する。その方たちの要望に応じて欲しい。

事務局：ご指摘の戸隠森林植物園は、土地が国や県が管理している部分と市が管理する部分がある。市が事務局を担っている実行部会では、戸隠森林植物園の木道整備にオフィシャルサポーター制度を導入し、企業から資材、お金を提供していただいている。この日曜日、新たな木道約706mをオープンした。今後も国・県としっかり連携を取り、巡りやすいような環境づくりに努めていきたい。

C委員：私も山歩きをし、お話の戸隠もよく歩く。実にいろんな鳥の声、さえずりが聞こえるが、どんな鳥だろうといつも疑問に思う。この時期、この鳥はこんな場所にいる、この鳴き声はこの鳥だとわかるような仕組みがあると、鳥に興味を持ってもらえ、誘客のポイントになるのではないか。

事務局：戸隠にはガイドさんがいて、早朝の野鳥の観察会等を開催し、野鳥の案内はしているが参加することが前提で、野鳥の声だけで種類を知るなどは難しい。

C委員：マニアックな世界だと思うが、それを広げて、一般の方まである程度受け入れる仕組みができると、もっともっと集客もできるのではないか。

山歩き中、自分で天使の鳴き声と呼んでいる鳥の声がある。その鳥の正体はわからないが、声を聞くと、癒されて、頑張るぞみたいな感じになる。その鳥の声の主が常に気になっていたのも、それがわかる仕組みができれば面白いと思う。

議長：今、バードウォッチングの協会というか、そんな集まりは戸隠にあるのか。

事務局：ガイドさんが企画をして、5月の連休に観察会は開催した。広報媒体を使って参加者を募集している。

議長：そういう、説明していただけたところがどこにあるのかということを知ることができればいい。非常にマニアックで、蝶々や鳥、キノコを追いかける人もいる。その方たちに向け「ここで案内できます」というのがわかればいい。例えば、善光寺のガイドなら「ここにご連絡ください」で済む。野鳥の場合は、ガイドさんなどを説明・案内できるところがどこにあるのか。

B委員：鳥に関しては野鳥の会がある。全国各支部があり、専門の方達の「戸隠に鳥が来た」の一声でツアーを組んで大勢で訪れることがある。

議長：そういう専門の場所があることを多くの方にお知らせできる仕組みがあることが重要。

B委員：戸隠森林植物園は散策や散歩の道である。クマスズ鳴らしながら楽しく歩きたい人も多い。エリアが混在している。野鳥の聖地として売り出すなら、5月、6月はバードウォッチャーがいたらエチケットでクマスズは手で押さえて静かにするなど、お互いへの心遣いもPRすると両方に優しい。撮影している人に声をかけると画像を見せてくれるし、狙っている鳥を教えてくれる。会話が生まれることで観光に来た人も鳥を好きになるきっかけになるかもしれない。

議長：善光寺・戸隠・飯綱と分けている中で、各地区のひとつ戸隠の役割として、そういうお客様に対応できるような連絡網を作ることにはできないのか。野鳥に関しても特有の情報があるなら観光協会など地域で、体制をつくれば一つの集客になり得る。来

られる方に対して、素早く案内できるのは地元・民間の知恵である。

B委員：このバードウォッチングは既にそこにアイドルがいるので、あとは整備。そして受け入れる側の知識。有効に活かすことのできる観光資源である。

D委員：年々ふるさと納税を楽しみにしている。最近体験型の商品も多いが、観光振興や今回の方針とも相性がいいと考える。企画として予定はあるのか。

事務局：ご指摘の通り、体験型は品物以上に長野市に来ていただいて良さを知っていただくことができると考える。ふるさと納税は違う部署の担当で、今後連携を取りながらすすめたい。

今年5回目を迎え、最終年となる「NAGANOデザインウィーク」では学生さんが商品づくりの体験としてデザインなどに参加している。オリジナルグッズや長野市の素材で作ったビールのパッケージ等のデザインを地元の学生さんをお願いしてクラウドファンディングの返礼品としている。

また、今年は冬の戸隠でメダリストである荻原市長とスキーやスノーシューを一緒に体験できるツアーの販売を企画している。

ふるさと納税は他部署と連携し、体験ができる商品の販売も取り組んでいきたい。

## (2) 長野市観光振興計画（平成29年度～令和3年度）の進捗状況について

E委員：資料2-1 指標の達成状況の満足度について。

満足度とは答える側が何に対しての満足なのか実際わかりにくい。我々も企業に満足度調査をするが個別の接客態度とか、いろんな項目を設定した上で総合的な満足度を問う。単純に満足度という聞き方もいいが、それでは何を改善すればもっと良くなるのかが、わかりにくい。例えば善光寺の満足度をより高めるためには、何が足りないのかわかるような調査方法にした方がいいのではないか。

もう1点、経済波及効果を出す際に金額が示されるが、算定する際に消費税は入っているのか。ちょうど2019年に増税分があり2%上がっている。その増税を除いた算定なのか、教えて欲しい。

SCOP：まず満足度だが、二つやり方があり計画策定する時の調査と、計画が策定した後、指標を作る時の調査で、設問を分けている。

計画を策定する時の満足度については、課題も含め、いくつか満足度の項目を設定している。例えば「お土産についてどうですか」等と分けている。ただ指標を作る時満足度は、長野市全体について「観光した際にどうですか」というような質問になっている。

次に経済波及効果についてだがアンケートは対面で行い、消費税を含めた総額で回答いただく。それを元に波及効果を出している。今、消費税は入っていると認識しているが、手元にデータが無いので確認の上、再度回答する。

※後日、SCOPより、「経済波及効果を含め、アンケートで把握しているデータは消費税込みである」との回答あり。

F委員：善光寺御開帳では参拝客の案内をした。御開帳の期間中はホテルも宿坊もほぼ満室だったが、普段観光客は泊まらず帰る。長野に来たから美味しいお蕎麦を食べて、新幹線で日帰りが実に多い。

滞在時間を増やすために、旅行会社等と連携してイベントはできないか。1日は善光寺でも、2日目に戸隠や松代と1日でも多く長野市に滞在していただきたい。そして長野市で泊まれる方法、宿泊率を上げる施策を検討して欲しい。

議長：長野市には色々お膳立てしていただき本当にありがたいと思っている。

だが先程のバードウォッチングもそうだが、やはり、これから観光客をどうするかとなると民間の力が重要。日頃からお客様の声をしっかりと拾い上げ、いかに対応していくかということである。今後多分FIT（海外個人旅行）、個人客が多くなることも踏まえ、細かく対応するためには民間の力が大きくなることも忘れてはならない。たくさんのご意見ありがとうございました。

～ 事務局説明資料の内容のとおり、進めていくことが了承された。～

8 その他

9 閉会